

特集

第14回全国計量士大会開催

「グローバル化社会における計量管理と計量士の役割」テーマに



全国各地から約170名が参加した会場のようす

(一社)日本計量振興協会は、2016(平成28)年2月26日(金)、第14回全国計量士大会を東京都港区海岸のホテルインターコンチネンタル東京ベイで開催した。会場には全国各地から多数計量士が集まり、「グローバル化社会における計量管理と計量士の役割」をメインテーマに、活発に意見交換がおこなわれた。講演は、ヨーロッパにおける計量管理の状況について、昨年実施された計量士による調査団がヨーロッパで調査したデータ、スーパーマーケット等での計量管理の状況や方法のようすを報告した。また自動はかりのアンケート結果と管理事例では、アンケート結果と実際の管理の事例について紹介し、計量士自らが研鑽を積み、今後の職域拡大にチャレンジできる有用な情報を共有し、多くの計量士から活発な意見が交わされた。大会の概要は以下のとおり。

吉川敷計量士部会委員 ます吉村良次計量士部会長の開会、吉村良次計量士部会長の開会の辞に続いて、主催者を代表して加島淳一郎日本計量振興協会会長があいさつ(別項参照)し、三浦裕幸経産省計量行政室長大会が祝辞(別項参照)を述べて大会が進行された。

全国各地から約170名が参加した会場のようす

子に載せているように北海道計量士会始め22の計量士会、計量協会から協賛をいただいております。御礼申し上げます。メインテーマを『グローバル化社会における計量管理と計量士の役割』と題して企画したところです。今年で14回を数え、そろそろ満了かと思われる方もいるかと思いますが、そうではないと考えています。計量士制度は、当初の登録証に書かれていたとおり、質量、体積、長さ、角度、温度等に区別されており一定の分野で専門性の高い制度であった。今では、計量士の業務は、さまざまに業種における計量管理、法定検査の分野にも関わりを持つなど計量士という資格に世間からは幅の広い、奥の深い力量が期待され求められています。昨今は、技術の進歩も人々の好みも変化し立ち止まってはくれません。変化の激しいなかで計量士のあり方、方向性を追求するということが、この計量士大会の目的の一つでもあります。『経済産業省では、計量制度の見直しの検討がおこなわれています。今日は貴重なお話しをお伺いできることを期待しています。この大会が、有意義なものとなることを祈念いたします。第14回全国計量士大会の開会を宣言いたします』

昨年実施した21名の計量士による調査団のヨーロッパ視察で調査したデータ、自動はかりのアンケート結果と実際の管理の事例について、概要報告があった。講演の後は、(次ページへ)

今年も第14回全国計量士大会に出席することができて大変光栄です。それとともに日ごろ、計量行政に多大なご協力をいただいておりますこと、この場を借りて厚く御礼申し上げます。計量行政については、さまざま課題があるなかで、制度見直しに向けて着々と進めています。具体的な課題を整理する検討会を審議官ヘッドで2月1日に第1回、第2回を3月2日、第3回を3月18日におこない報告書として取りまとめ

1つ目の視点は、今までも民間活力の導入がされてきていますが、さらに、もう一歩進めること。具体的には、検定・定期検査がおこなう主体として地方自治体に担って

2つ目の視点は、社会情勢の変化に応じて新たな規制した方がよいので、は、長年、日計振が進めてきた自動はかりや水素自動車(水素燃料電池車)の普及に対して水素(水素)をどうするのかが話です。3つめは、規制緩和の必要はないので、規制する必要があるという視点。たとえば、環境計量証明事業者が持

ただいているところに、もう少し、民間の力を活用できないか。たとえば、製造事業者の指定基準にISO基準を導入して緩和できないか、という視点で進めています。経産省の組織目標は、1年に1回それぞれの局で建てるわけであり、この2月に全国計量行政会議を開催しました。全国的関係者200人以上が参加して進めています。日環協からも課題を発表していただきました。

話題が中心になるものと推察いたします。当会の事業は、後ほど、全国の共通課題になって河住専務理事から説明がおります。今後は、そのあると思いますが、郵政課題の解決のため計量体制の見直し・再構築とそ

計量士に係るものが大半であり、計量士の問題は運動共同体である当会の問題でもあります。本日のような意見交換会や討議の場を通して今後より有効な対応策を検討していきたくと考えております。引き続きご支援ご協力の程よろしくお願い申し上げます。最後に、今大会の企画

皆様、本日はご多用のことをご場をお借りしなから、多くの方が遠路御礼申し上げます。わが国の経済は、足踏りがとぎやまっています。まみ状態が続いていますが、大企業は好決算が相次いで、公務も多忙のなか、経済産業省計量行政室三浦室長様を始め関連機関から多くのご来賓のご出席を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、計量界は100有余年間のその使命は変わらぬ、脈々と活動が継承されていることは誇りに感じます。本日の意見交換会のテーマもその辺の

話を中心にするものと推察いたします。当会の事業は、後ほど、全国の共通課題になって河住専務理事から説明がおります。今後は、そのあると思いますが、郵政課題の解決のため計量体制の見直し・再構築とそ

本日のような意見交換会や討議の場を通して今後より有効な対応策を検討していきたくと考えております。引き続きご支援ご協力の程よろしくお願い申し上げます。最後に、今大会の企画

ただいているところに、もう少し、民間の力を活用できないか。たとえば、製造事業者の指定基準にISO基準を導入して緩和できないか、という視点で進めています。経産省の組織目標は、1年に1回それぞれの局で建てるわけであり、この2月に全国計量行政会議を開催しました。全国的関係者200人以上が参加して進めています。日環協からも課題を発表していただきました。

ただいているところに、もう少し、民間の力を活用できないか。たとえば、製造事業者の指定基準にISO基準を導入して緩和できないか、という視点で進めています。経産省の組織目標は、1年に1回それぞれの局で建てるわけであり、この2月に全国計量行政会議を開催しました。全国的関係者200人以上が参加して進めています。日環協からも課題を発表していただきました。

ただいているところに、もう少し、民間の力を活用できないか。たとえば、製造事業者の指定基準にISO基準を導入して緩和できないか、という視点で進めています。経産省の組織目標は、1年に1回それぞれの局で建てるわけであり、この2月に全国計量行政会議を開催しました。全国的関係者200人以上が参加して進めています。日環協からも課題を発表していただきました。

ただいているところに、もう少し、民間の力を活用できないか。たとえば、製造事業者の指定基準にISO基準を導入して緩和できないか、という視点で進めています。経産省の組織目標は、1年に1回それぞれの局で建てるわけであり、この2月に全国計量行政会議を開催しました。全国的関係者200人以上が参加して進めています。日環協からも課題を発表していただきました。

ただいているところに、もう少し、民間の力を活用できないか。たとえば、製造事業者の指定基準にISO基準を導入して緩和できないか、という視点で進めています。経産省の組織目標は、1年に1回それぞれの局で建てるわけであり、この2月に全国計量行政会議を開催しました。全国的関係者200人以上が参加して進めています。日環協からも課題を発表していただきました。

東京計量士会 会長 横尾明幸

福島県計量士会 はかることは すべての基本です

長野計器 「環境・保安・安全」をキーワードに 社会に貢献いたします。

創業・享保16年(1731年)計量・計測機器専門総合商社 塩崎商衡株式会社

(前ページから) デイスカッションを実施して計量士業務の根幹である計量管理のあり方を共有するとともに、計量士の活躍が期待できる事業、分野等で意見交換をした。

事業の状況を報告

河任春樹日計振事務理事が、計量士関係事業の取り組み状況を報告した。



三浦裕幸室長 加島淳一郎会長



帆足愛氏 桑山重光氏



佐々木文仁氏 金井一榮氏

基礎講習会の開催(地区計量団体等と協業) ⑤計量の普及啓発 ⑥計量記念日関連事業 ⑦計量普及 ⑧地区中小企業対象の測定基礎研修の実施 ⑨計量士

の普及等活用と認証制度の実施 ③計量士団体の普及啓発 ④計量新教材の作成準備 ⑤計量担当者育成のための研修事業 ⑥計量士

の調査検討 ①自動はかりの計量管理基準(JIS規格案)のまとめ ②自動はかり法規制対応案の詳細検討 ③自動はかりの計量管理に関する調査検討報告書の作成 ④自動はかりの計量管理調査検討委員会

の調査検討 ①自動はかりの計量管理調査検討委員会 ②計量管理の推進 ③計量管理の調査検討 ④計量管理の調査検討 ⑤計量管理の調査検討

意見交換要旨

フリーディスカッション(1)

講演1に関する質疑応答

塩崎利平計量士(富山) 市場に出た計量器について、冊子に後続検定と



塩崎利平氏

塩崎利平計量士(富山) 市場に出たものも製造時と同じ検査をするの

記述されているが日本における定期検査はないのか。 帆足愛計量士 欧州では、初期検定と後続検定の制度であり、定期検査というものはないと聞いている。



荒木孝雄氏

荒木孝雄計量士(兵庫) 検定証印の話でC&Eの下にMと書かれていると言われたが、具体的にどの辺にあるのか教えて欲しい。

帆足愛計量士 パワーポイント「METAS表敬訪問(はかり)」の写真にあるように、C&EとMで検定証印とされておりMはMetrologyのMです。

帆足愛計量士(愛知) 現地では、自分で詰めたはかりだけでなくレンジに正確性を期すために「ローラー付き計量器」



廣瀬幸造氏

小野威計量士(神奈川) ヨーロッパ視察に参加してきた。欧州の消費者も計量に対する関心は高いと感じた。計量クラスに努力をしていただき計量の報告もあつたが、今後の量の大切さをアピールしたい。計量クラスについては、精度的な問題がある等、否定的な意見がいろいろあるが計量意識を醸成する意味で検討しているものである。【次号以下へつづく】

要が報告され、自由に討議した。コーディネーターは桑山重光計量士部会副会長。 加藤英幸産総研計量研修センター長と三浦裕幸計量行政室長が講評した。 閉会あいさつは、白鳥慎治委員。 懇親会で交流深める 懇親会を開催して、年に一度の計量士の大会で親交を深めた。

創業明治42年 HIK 計量器製作・改造・修理・販売・計量管理 経産省計量器計量器製造型式承認 第D96107 取得済み 一步先の計量管理をサポートする 有限会社 帆足計量機器 (大分県計量管理センター併設) 〒870-0108 大分県大分市三佐5丁目1番31号 TEL:097-594-9122(代表) FAX:097-594-4698 登録番号:第9122号 計量士 帆足 亨 登録番号:第13902号 計量士 帆足 愛

香川県計量協会計量士部会 会長 渋谷 弘 〒761-1803 高松市郷東町五八七-1 FT AXLO 0877 1188822 5510756

愛知県計量士会 会長 阿知波 正之 〒456-0012 名古屋市中熱田区沢上二丁目8-17 (阿知波計量士事務所内) 電話(052)93817433 FAX(052)93817432

茨城県計量協会 会長 宮田 欣三 〒310-0011 茨城県水戸市三の丸3丁目14番3号 TEL029122517973 FAX029122517974

はかりづくり・メンテナンスのスペシャリスト 「顧客満足のものづくり、サービスの徹底」 計量に関わる、お客さまニーズに応え、「はかり」を通して、お客さま企業を支えます。 電子天びん、デジタル台はかり、規格台はかりなどの一般はかり トラックスケールやホッパースケールなどの産業用はかり JCSS 株式会社大阪デジタル 本 社 〒544-0011 大阪市生野区田島 5-21-19 TEL.06-6758-1318 FAX.06-6758-1349 第2工場 〒544-0012 大阪市生野区巽西 3-1-7-2 TEL.06-6758-1358 FAX.06-6777-3363

祝 全国計量士大会 適正計量のことはおまかせください。 質量計の設計・製作・修理・販売! 新設提案・整備計画提案まで担当させていただきます! 日頃の御支援に 感謝いたします。 MTT 株式会社 メジャーテックツルミ 〒210-0834 川崎市川崎区大島2-7-10 TEL.044(244)4379 FAX.044(244)4497 代表取締役 横須賀英樹(計量士)